



聖マリアンナ医科大学病院
ST. MARIANNA UNIVERSITY HOSPITAL

入院のご案内

様

入院日時 月 日 曜日

時 分頃までに

ご来院ください





聖マリアンナ医科大学病院

理 念

生命の尊厳を重んじ、病める人を癒す、愛ある医療を提供します。

病院の基本方針

1. 患者安全を第一とする医療管理体制のもと医療を提供する
2. プライバシーに配慮した上で十分なインフォームドコンセント・アセントを行い、患者さんの同意に基づいた医療を提供する
3. 高度医療を提供しつつ、地域の医療機関と密接に連携して地域の中核病院として期待される機能を発揮する
4. 臨床研究を推進し、医学の発展に貢献する
5. 職場の心理的安全性を保ち、多職種連携により医療の質の向上に努める
6. 愛ある医療を提供できる医療人を育成する

患者の権利と責務について

■ 権利に関する事項

1. 平等に適切な医療サービスを受けることができます。
2. 病気・けがの状態、治療内容および見通しについて十分な情報と説明を受けることができます。
3. 診断・治療方針を自らの意思で決めることができます。
4. 大学病院として教育実習や研究的治療が行われておりますが、その対象となるのを断ることができます。
5. 望まない医療の提供あるいは教育・研究への協力を拒否した場合でも、何ら不利益を被ることはありません。
6. 診療情報は保護され、プライバシーは尊重されます。
7. 診療に関する記録の開示を求めることができます。
8. セカンドオピニオンを求めることができます。

■ 責務に関する事項

1. 適切な医療を受けるため、自らの健康状態等、必要とされる情報を可能な限り正確に医療提供者に伝えてください。
 2. 治療・療養に必要な指示を守ってください。
- ※暴言・暴力や迷惑行為、および器物破損行為を禁止します。
- ※診療を阻害するような迷惑行為などがあった場合、患者および家族の意思に関わらず、退去していただくことがあります。

病院の安全を守り、診療を円滑に行うと共に、最善の医療を提供するために、ご協力をお願いいたします。

こどもの患者の権利について

こどもの患者の権利に関する事項

あなたは、どのようなときにもひとりの人間として大切にされながら、大人へと育っていくことを一番に考えた医療(※1)を受けることができます。聖マリアンナ医科大学病院では、このような考え方でつくった「こども患者憲章」(※2)を守って、あなたを助けていきます。

※1 病気を治してもらうことなど。

※2 あなたのために、病院の人たちやあなたのご家族、そして、あなた自身も守らなければならない決まりごと。

こども患者憲章

1. あなたは、どのような病気にかかったときでも、ほかの人と同じようによい医療を受けることができます。
2. あなたは、どのようなときでも、ひとりの人間として大切にされ、病院の人たちやご家族と力を合わせながら医療を受けることができます。
3. あなたは、病気のことや病気を治していく方法を、あなたがわかる言葉や物などを使って、病院の人たちやご家族から教えてもらうことができます。
4. あなたは、病気のことや病気を治す方法について、十分な説明を受けたうえで、自分の考えや気持ちを病院の人たちやご家族に伝えることができます。
5. あなたは、わからないこと、心配なことや不安なことがあるときは、病院の人たちやご家族に聞いたり、話したりすることができます。
6. あなたが話したことや、あなたの病気について知られたくないことは、他の人には勝手に話しません。
7. あなたは、入院していても、勉強したり、遊んだりすることができます。
8. あなたは、病気の治し方や薬が効くかどうかの研究への協力を頼まれたときは、十分な説明を受けて、協力するかどうかを自分で決めることができます。決めるときに、わからないことや不安なことがあれば、病院の人たちやご家族に聞いたり、話したりすることができます。とちゅうでやめたくなれば、いつでもそれをやめることができます。
9. あなたの病気がよくなるように、あなたのからだや気持ちのことをできるだけわしく病院の人たちやご家族に伝えるようにしてください。
10. あなたとみんなが気持ちよく過ごすために、あなたも病院の約束を守ってください。

個人情報の取り扱いについて

当院では、「個人情報保護法」の施行に伴い、患者さんの個人情報を保護する観点から、「個人情報保護方針」を定め、万全の体制で患者さんの個人情報の取り扱いと管理に努めております。

なお、患者さんの個人情報を下記の目的の範囲内で利用させていただきますので、何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。詳細については、院内掲示板と当院ホームページでご確認いただけます。

1. 医療保険請求事務
 2. 検体検査業務等の業務委託
 3. 医療事故等の報告
 4. 医学生・看護学生・薬学生の実習
 5. 他の医療機関、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携 など
- (1) 患者さんご本人の確認並びに医療の安全を優先する観点から、受付時の呼び出しや、病棟での名札の掲出などにも利用させていただきます。
- (2) 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたい事項がある場合には、その旨を各部署の責任者または事務部管理課までお申し出ください。お申し出がないものについては、同意が得られたものとして取り扱わせていただきます。
- (3) 入院の有無や病室番号を面会者にお知らせすることに不都合のある方は、あらかじめ入退院フロントまでお申し出ください。お申し出のない患者さんについては、面会のご了解が得られたものとして取り扱わせていただきます。

聖マリアンナ医科大学病院における「説明と同意」(インフォームドコンセント)

1. 医療を進めるために

診療に際しては、患者さんに十分説明し、理解していただき、同意を得られるよう努めます。ただし、患者さんご本人によるご理解および自己決定が困難と判断される場合、または患者さんご本人が説明を聞きたくないということを明白に主張される場合は、以下の(1)から(4)に該当する者のうち、いずれかの者(以下「代理人等」といいます。)に十分に説明していただき、ご理解および同意を得られるよう努めます。

- (1) 患者さんに法定代理人がいる場合には、法定代理人。
- (2) 診療契約に関する代理権が付与されている任意後見人。
- (3) 患者さんご本人から代理権を与えられた親族およびこれに準ずる者。
- (4) 患者さんが成人で判断能力に疑義がある場合は、現実に患者さんの世話をしている親族およびこれに準ずる者。

2. 説明を受けるために

患者さんは病状および行おうとしている検査・治療について、十分に理解し納得のいくまで説明を受ける権利があります。その後の医療については、自分で決定する権利があります。医療従事者は患者さんおよび代理人等が理解し判断できるよう努めます。

3. ご家族あるいはご親族同席のもとで

重要な説明には、患者さんの承諾のもと、代理人等または患者さんの信頼する第3者の同席をお願いする場合があります。

4. 診療行為の目的や意義について

診療行為、とくにリスクを伴う行為を実施する場合、以下のことについて説明し同意を得ます。

- ①病状の説明に加えて当該診療が必要な理由
- ②診療の具体的内容
- ③診療後に予想される身体障害と合併症
- ④実施しない場合に予想される結果
- ⑤他の手段とその利害得失
- ⑥実施後の一般的経過など

5. 理解しやすい説明

患者さんに重要な説明を行う場合は、説明文書を用い説明中の節目ごとに、または説明終了時に理解できたかどうかを確認し、質問を受けます。また、説明はプライバシーに配慮した場所で行い、患者さんおよび同席者の心理的ストレスにも配慮します。

6. 説明と同意に関する記録について

説明の内容と同意の取得について、記録を残します。ただし、緊急事態では、事前の説明と同意を省略することがあります。同意書への署名に際しては、ご家族あるいはご親族などと十分相談できるよう配慮します。同意書に署名を求める場合は、他の医療機関の医師の意見(セカンド・オピニオン)を聞くことが可能であること、また、その際には必要な資料を提供することを伝えます。

7. 同意撤回について

一度、医療行為に同意した後でも、いつでも同意を撤回することができます。主治医や担当医にお申し出ください。同意を撤回したとしても不利益な扱いを受けることはありません。

入院のご案内 目次

- 6 入院前の準備・お手続き
- 7 入院から退院までの流れ
入院にあたってのお願い
- 8 入院の日に必要なもの
 - 1- 入院手続きで必要なもの
 - 2- 身の回りで必要なもの
 - 3- お持ち込みいただけないもの
 - 4- お薬について
(薬剤部からの大切なお願い)
- 11 入院費について
 - 1- ご請求について
 - 2- お支払いについて
 - 3- 医療費後払いサービス「ラク〜だ」について
 - 4- 入院時食事療養費について
 - 5- 限度額適用認定証について
 - 6- 入院医療費の算定方法について
- 14 面会について
付き添いについて
- 15 相談窓口のご案内・
患者サポート体制について
- 16 安全かつ快適に過ごしていただくために
 - 1- 患者さんの取り違えを防ぐために
 - 2- 転倒・転落の防止対策について
 - 3- こんなときに転倒します！
 - 4- 骨折のリスク
 - 5- 食事時の誤嚥^{ごえん}や窒息を防ぐために
こんなことに注意しましょう
 - 6- 誤嚥^{ごえん}・窒息のリスク
 - 7- 誤嚥^{ごえん}・窒息の予防
- 20 入院中の生活について・大切なお知らせ
- 21 入院中の生活について
 - 1- ネームバンドの装着について
 - 2- お食事について
 - 3- 貴重品について
 - 4- テレビ・冷蔵庫のご使用について
 - 5- 洗濯について
 - 6- シーツ交換について
 - 7- シャワー・入浴について
 - 8- 病室移動・ベッド移動について
 - 9- 携帯電話・インターネットのご利用について
 - 10- 院内での迷惑行為について
 - 11- 院内の機器や備品の破損について
- 23 勤務犬による動物介在療法について
- 24 診療記録のご提供について
各種診断書・証明書の発行について
災害時の対応について
入院中における他の医療機関への
受診について
- 25 感染症予防対策について
 - 1- 手指の衛生 (手洗い・消毒)
 - 2- アルコール配合の消毒剤による
手指消毒の方法
 - 3- マスクの着用
- 26 病棟案内図
- 28 サービス施設について
- 29 関連病院

入院前の準備・お手続き

これから入院される方へ、
お手続きやお持ちいただくものなどをご案内します。
快適な環境で安心して入院治療に専念できるよう、
入院から退院まできめ細やかなサポートに
努めてまいります。

入院から退院までの流れ

入院の予約

医師より入院の指示がありましたら、
入院予約窓口で入院の予約をお取りください。

※入院キャンセル、変更希望の方は必ず電話等で入院科外来へ連絡をお願いいたします。

事前の連絡

後日、入院日・来院時間などをベッドコントロール担当者より電話にて
ご案内・お知らせいたします。

入院の当日

入院当日は再来予約専用受付機に診療券を通さずに

入退院フロント へお越しください。

※神経精神科へ入院される方は、神経精神科外来窓口へ直接お越しください。

※小児病棟に入院されるお子さんは、先に外来で診察をお受けください。

※入院当日から退院までの間に外来診療を予約されている場合は、病棟スタッフへお
申し出ください。

退院の手続き

医師および看護師・薬剤師が退院後の生活や注意点について、ご説明いたします。
※次回の外来予約票・診療券・お薬をお渡しいたします。

退院

請求書の準備ができ次第、病棟スタッフがお知らせいたしますので、退院当日
までの入院医療費を入退院フロントでお支払い後、退院となります。

※預り金のある方は、「預り証」を入退院フロントにご提出ください。

※後払いサービスをご利用の方は、入退院フロントに寄らずに直接病棟よりご帰宅い
ただけます。

入院にあたってのお願い

- 病棟内の状況により、当該診療科以外の病室に入院していただく場合があります。
- 入院期間中の駐車はご遠慮ください。送迎・面会の方は、外来駐車場をご利用ください。
なお、送迎・面会の方への割引はございません。
- 当院敷地内は、全面禁煙となっていますので、喫煙はご遠慮ください。

入院の日に必要なもの

持ちものを忘れないように、準備ができたものには□に✓を入れましょう。

1 入院手続きに必要なもの

☐ マイナンバーカード、または健康保険証・医療券

入院中に健康保険証等の変更がありましたら、必ず入退院フロントにお申し出ください。

※限度額認定証をお持ちの方は、ご提示ください。(オンラインでも資格確認を行っております。)

☐ 入院時預り金20万円：特別病棟（入院棟11階南病棟）

10万円：その他に入院の患者さん

※預り金は、診療費の一部として充当させていただきます。

※医療費後払いサービス「ラク〜だ」をご利用の患者さんは、入院時預り金は必要ありません。

☐ 入院証書（署名、捺印のうえ、必ずご提出ください）

☐ 特別療養環境室（差額ベッド）入室同意書（個室などの希望時のみ、入院証書の裏面をご記入ください）

☐ 入院履歴確認書

※患者さんの過去の入院について確認させていただくものです。前回入院していた医療機関から発行された退院証明書をお持ちの方は、入院履歴確認書と一緒にご提出ください。

☐ 入院にあたっての患者情報用紙（事前に入院支援看護師が介入される方は不要）

☐ 診療券

☐ 印鑑（ネーム印やゴム印以外）

2 身の回りで必要なもの

☐ 現在使用中のお薬

☐ お薬手帳

※10ページの4 お薬について(薬剤部からの大切なお願い)をご確認ください。

☐ 寝巻・パジャマ など

☐ タオル類

(バスタオル・フェイスタオルなど)

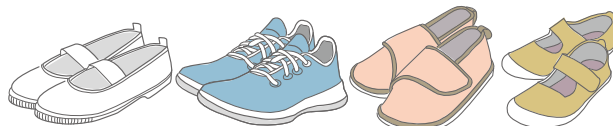
☐ 洗面用具

(歯磨きセット、シャンプー・リンス、ボディソープ、コップ、ひげそり、ヘアブラシ、ティシュペーパーなど)

☐ 下着

☐ カーディガン (羽織るもの)

☐ 室内履き (スリッパは不可。かかとがあり、すべりにくいもの)



つまずきや転倒防止のため、つま先・かかとを覆う靴をご用意ください。(ご自宅で使用されているものでも構いません)

☐ マスク ※「不織布」製のものを推奨します

☐ 携帯電話・充電器 (必要な場合)

※パジャマ・タオル類・洗面用具につきましては、レンタルもご利用いただけます。(有料)

※必要に応じて、紙おむつもレンタルできます。おしり拭きは各自でご持参ください。

※小児用パジャマは、90cmからご用意しています。

※病室のベッドに備え付けのテレビ・冷蔵庫は、1日の定額制になります。

入院手続きの際にご利用についてご確認ください。

3 お持ち込みいただけないもの

- ナイフ、カミソリ、先端が鋭利なはさみ等の刃物
- ライター等の火器類
- たばこ、アルコール類等の嗜好品
- 貴重品、多額の現金

※手術を控えている方は、各科外来で必要なものをご案内いたします。

※小児病棟に入院されるお子さんは、持ちものに記名をお願いいたします。

※入院中のネット注文など個人宛の配送は、ご遠慮ください。

※ご不明な点がありましたら、外来棟1階の「入退院フロント」までお問い合わせください。

4 お薬について（薬剤部からの大切なお願い）

● 入院時にお持ちいただくもの（お薬関連）

- ☐ **現在使用中のお薬**（飲み薬、貼り薬、塗り薬、目薬、吸入薬、自己注射薬 など）
現在使用中のお薬の内服・管理状況を確認します。
ご持参いただいたお薬を使用しない場合や内服管理状況が変更となる場合があります。

- ☐ **お薬手帳**

● 市販薬について

血液をサラサラにする成分や血液が固まりやすくなる成分、血糖値に影響をおよぼす成分が含まれているものがあります。入院前に購入した飲み薬を使用される場合、事前に主治医または薬剤師にご相談ください。

とくに注意が必要なお薬

- アスピリン（アセチルサリチル酸）を含む解熱鎮痛薬（バファリン A など）
- 低用量ピル など

※退院後、服用を希望される場合には、主治医または薬剤師にご確認ください。

● サプリメント・健康食品について

血液をサラサラにする成分や血液が固まりやすくなる成分、血糖値に影響をおよぼす成分が含まれているものがあります。手術・検査に影響がないよう、入院の2週間前から退院までは服用をおやめください。内科に入院の場合も、出血を伴うような検査を行うことがありますので、服用をおやめください。

注意が必要なサプリメント

- 健康食品：朝鮮人参、EPA、DHA、ニンニク成分、プロポリス など

※退院後、服用を希望される場合には、主治医または薬剤師にご確認ください。

● 後発医薬品（ジェネリック医薬品）について

当院では、後発医薬品の使用を推奨しています。もともと内服されていたお薬を当院で処方し直す際、後発医薬品を処方させていただく場合があります。成分は同じであり、効果に違いはありません。

- 入院前に、お薬に関連することについて、不明点や不安なことがありましたら、薬剤部までご相談ください。

入院費について

1 ご請求について

- 入院期間が月をまたぐ患者さんについては、毎月15日前後に前月分の請求書を外来棟1階「入退院フロント」にてお渡しいたします。
- 請求書をお受け取り後、1週間以内にお支払いをお願いいたします。
- 退院時に、当日までの請求書をお渡しいたします。
- 退院時に請求書をご用意できない場合は、後日、金額・お支払い方法についてご連絡させていただきます。
- 「預り金」は、退院会計の際に医療費に充当させていただきます。
- 後払いサービスをご利用の方は、後日カード決済となります。

2 お支払いについて

- 当院では、以下の医療費のお支払いにクレジットカード・デビットカードをご利用いただけます。

■ 入院中の定時請求書の支払い額

■ 退院時の医療費が預り金を超えた場合の支払い額

- ご利用が可能なカードは以下のとおりです。

JCB、AMERICAN EXPRESS、VISA、MasterCard、UC、Diners Club、J-Debit



- ご利用にあたっての注意

- クレジットカード等は、外来棟1階の入退院専用自動精算機でのみ使用が可能です。
- クレジットカード等でのお支払いには、暗証番号4ケタの入力が必要です。
- クレジットカード等によっては、ご利用できない場合があります。
- お支払方法は「1回払い」のみ利用が可能です。
- カードの限度額をあらかじめご確認のうえ、ご利用ください。
- 「出産育児一時金直接支払制度」をご利用の際には、カード払いはご利用いただけません。

入退院フロントの受付時間

平 日

午前8時30分～午後5時

土・日・祝日

午前8時30分～午後4時30分

入退院専用自動精算機の利用時間 午前8時30分～午後4時30分

3 医療費後払いサービス「ラク〜だ」について

患者さんの待ち時間を少しでも減らすため、医療費後払いサービスを導入しています。ご利用いただくには、事前に本サービスへの利用登録が必要です。下記の QR コードまたは URL より、WEB サイトで利用者登録を行ってください。

■利用料無料 ■登録料無料

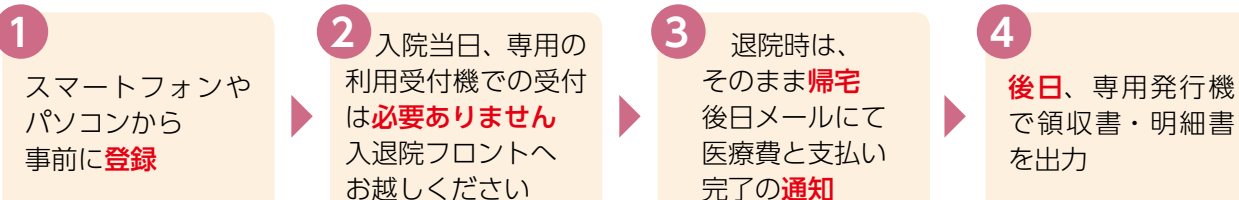
診察前のご登録で、その日から簡単に後払いサービスをご利用いただけます。

<https://s4.medicalpay.jp/marianna/login/>

※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替えてください。(wi-fi オフ等)
※入院診療費は高額になる場合があるため、事前にクレジットカードのご利用限度額をご確認ください。



ご利用方法について



- お支払い方法は、一括払いのみとなります。
- 後日、ご登録いただいたメールアドレスに、医療費とクレジット支払い完了をお知らせいたします。(退院日から約4日～1週間程度で通知いたします。なお、入院期間が月をまたぐ患者さんについては、毎月15日前後に前月分の請求書が発行されますので、請求書発行日から約4日～1週間後に通知いたします)
- 現金で支払いたいという場合も必ず入院時に入退院フロントへお申し出ください。入院時にお申し出がない場合、支払方法の変更はできません。
- 後払いサービス「ラク〜だ」を利用される場合、預り金は必要ありません。
- 退院時に入院費の概算を知りたい場合は、退院の際に、病棟事務より会計連絡用紙をお渡しいたします。概算費用が記載されていますので、そちらでご確認をお願いいたします。
- 以下の方は、後払いサービス「ラク〜だ」の対象外となりますので、通常の窓口会計をお願いいたします。
 - ・各種公費の「自己負担上限額管理票」をお持ちの方
 - ・ご出産で入院される方
- 領収書・明細書を希望の場合、お支払い完了メールが到着後、外来棟1階の専用発行機から発行いただけます。郵送を希望される方は、入退院フロントへお申し出ください。(別途送料430円がかかります)

■領収書・明細書専用発行機

平 日 午前7時30分～午後5時
土 曜 午前7時30分～12時30分 ※外来休診日を除く

■医療費後払いサービス「ラク〜だ」お問い合わせ窓口

外来棟1階「支払い窓口」
平 日 午前8時30分～午後5時
土 曜 午前8時30分～12時30分 ※外来休診日を除く

医療費後払いサービス「ラク〜だ」について

<https://www.marianna-u.ac.jp/hospital/kanja/atobarai/>

4 入院時食事療養費について

入院中の食事については、食事療養標準負担額を患者さんが負担し、残りを『入院時食事療養費』として加入されている健康保険が負担します。

食事療養標準負担額（1食につき）		
A	一般の方	490 円 / 食
B1	住民税非課税世帯の方 (過去1年間の入院日数が90日以下の方)	230 円 / 食
B2	住民税非課税世帯の方 (過去1年間の入院日数が90日を超える方)	180 円 / 食
C	住民税非課税世帯に属する70歳以上で 所得が一定基準に満たない方	110 円 / 食

※ B1・B2・C に該当する方は、加入されている公的保険の保険者が発行する限度額適用認定証を保険証と一緒にご提出いただくか、オンライン資格確認にて区分を確認させていただきますので入退院フロントまでお越しください。

5 限度額適用認定証について

高額療養費制度に基づき、70歳未満の方が「限度額適用認定証」を医療機関に提示されますと、入院費用の支払いが「自己負担限度額」までとなります。発行期日は原則申請月の1日からとなるため、早めの申請をお願いいたします。

交付手続きなどの詳細は、国民健康保険加入者 → 市区町村の国民健康保険課（役所）

社会保険加入者 → 各保険者へお問い合わせください。

※なお、自費料金（室料差額・パジャマレンタル代・食事代・おやつ代（小児のみ））は、この制度の対象にはなりません。

区分	医療費の自己負担限度額（月額）
ア	252,600円+(総医療費-842,000円)×1%
イ	167,400円+(総医療費-558,000円)×1%
ウ	80,100円+(総医療費-267,000円)×1%
エ	57,600 円
オ	35,400 円

〈平成 27 年 1 月以降〉

特別療養環境室料金（室料）

室料は、入退院の時間に関係なく、入院日・退院日を1日として計算しています。

例) 2泊3日→3日分

6 入院医療費の算定方法について

当院は、厚生労働大臣が指定する「DPC 対象病院」です。診療行為ごとに料金計算をする従来の「出来高払い方式」とは異なり、傷病名や手術、処置等の内容に応じて分類された「診断群分類」に基づく「包括払い方式」により算定いたします。

なお、すべての患者さんに、この包括払い方式が適用されるわけではなく、病気の種類・診療内容や入院日数によっては従来の出来高払い方式になる場合もあります。

費用の概算や制度の詳細については、入退院フロント・病棟事務までお問い合わせください。

面会の手続きについて

ご面会の方は、エントランス棟「総合案内」にて、面会手続きをしてください。
お手続きの際に、「面会シール」をお渡ししています。院内では胸上に貼付けてご使用ください。
個人情報保護の観点から以下の対応となっております。

- 電話によるお問い合わせについて

電話による患者さんの入院の有無、病棟のご案内は行っておりません。あらかじめ、患者さんもしくはご家族の方にご確認ください。

- 直接来院された場合の面会について

当院では入院に際し、患者さんもしくはご家族の方から面会希望の有無を確認しております。
面会拒否の意思表示がある場合にはどなた様にかかわらず、入院の有無を含めてご案内は一切致しかねます。

あらかじめご家族の方等に入院の有無や病棟・病室を確認の上、ご来院ください。

医療機関 来院時のお願い（医療機関内ではいつもマスク着用）

面会の時間・場所のご案内

日頃より、院内感染防止対策など当院の運営にご協力いただき誠にありがとうございます。
各病棟（スタッフステーション）にて、ご希望の面会場所をお申し付けください。
感染防止における取組へのご理解、ご協力をお願いいたします。

〈面会の時間・場所〉

面会時間（全日）	面会場所
13：00－19：30	病室・デイコーナー

- 総合案内、警備室（入退院出入口）にて、19時までには受付をお済ませください。
- 12歳以上のご家族・知人の方で、1回2名（30分以内 ※個室を除く）といたします。
- ご面会の際は、マスク着用のうえ、お越してください。
- ご面会の際は、感染防止対策の観点により、ご飲食はお控えください。
- 発熱、咽頭痛、下痢等症状のある方のご面会は、ご遠慮ください。

〈駐車場のご利用に関すること〉

ご面会の方は、外来駐車場をご利用ください。なお、面会の方への割引はございませんので、ご了承ください。

付き添いについて

- 原則、付き添いは必要ありません。ただし、病状等によっては許可される場合もありますので、担当看護師またはスタッフステーションまでご相談ください。

相談窓口のご案内について

当院では、疾患に関する医学的な質問並びに生活上および入院上の不安など、様々なご相談に対応いたします。ご希望の方は総合案内相談窓口にお申し出ください。

エントランス棟 1 階の総合案内相談窓口で、ご相談の概要を伺い、内容に応じて適切な部門や職種におつなぎします。

総合案内相談窓口

エントランス棟 1 階

主なご相談への対応部門

ご相談内容	部門	窓口	場所
どの診療科を受診したらよいか わからない	外来看護	受付→看護師	外来棟 1 階
外来医療費について	医事課	会計	
入院医療費について		入退院フロント	
生活保護、公費負担制度の手続き について		公費窓口	
精神保健・医療・福祉について、 認知症について	神経精神科外来受付		外来棟 6 階
がんの相談について	がん相談支援センター		エントランス棟 4 階
薬について	薬剤部	薬お渡し口	入院棟 4 階
受診に際して感じられた疑問・ ご意見	患者相談窓口		外来棟 7 階

患者サポート体制について

外来棟 1 階のメディカルサポートセンターには、社会福祉士、看護師、栄養士などの専門職、地域連携に精通した事務職を配置しています。入院前から退院後まで、安心して過ごせるようにサポート体制を整えています。

メディカルサポートセンター

外来棟 1 階

主に以下のようなご相談に対応いたします。

- どこに、どのように相談をしてよいのか、わからないとき
- 診察を受ける上での悩みや問題について
- 療養上の不安や生活上の不安、医療費の心配について
- 社会保障・社会福祉制度の活用方法の困りごとについて
- 治療と仕事の両立支援、社会復帰について
- 看護、介護、転院・退院に関するお悩みについて
- 食事療法・栄養の相談について
- セカンドオピニオン、受診先医療機関の紹介について

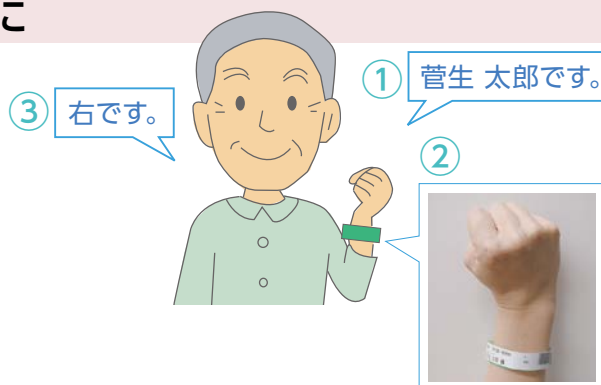
安全かつ快適に過ごしていただくために

1 患者さんの取り違えを防ぐために

当院では、氏名確認を実施しています。

診療や処置、検査、注射、内服、配膳などを行う前には、必ず3つのことをお願いいたします。

- ①フルネームを名乗ってください
- ②ネームバンドで確認
- ③処置部位を教えてください



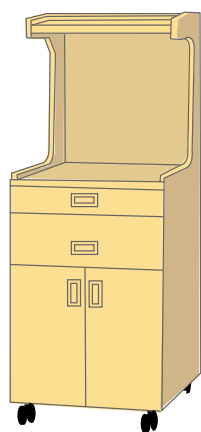
2 転倒・転落の防止対策について

入院される環境は、それまでの住み慣れた家庭の生活環境と大きく異なります。その生活環境の変化に、病気やけがによる体力や運動機能の低下が加わり思いもかけない転倒・転落が起こることがあり、深刻な事態を招くおそれがあります。

当院では、療養環境を整備し、一人ひとりの患者さんの転倒・転落のリスクを判断して対応策を考え実施しています。更に安全性を高めるためにご協力ください。

①ベッドまわりの整理整頓

- ベッド周囲（とくに足もと）には、ものを置かないようにしてください。
- ベッドに備え付けてあるオーバーテーブルや床頭台、点滴棒にはキャスターが付いているため、寄りかかったり支えにして立ち上がったりするのは危険です。



キャスターは危険



これは動きます
体を支えないで



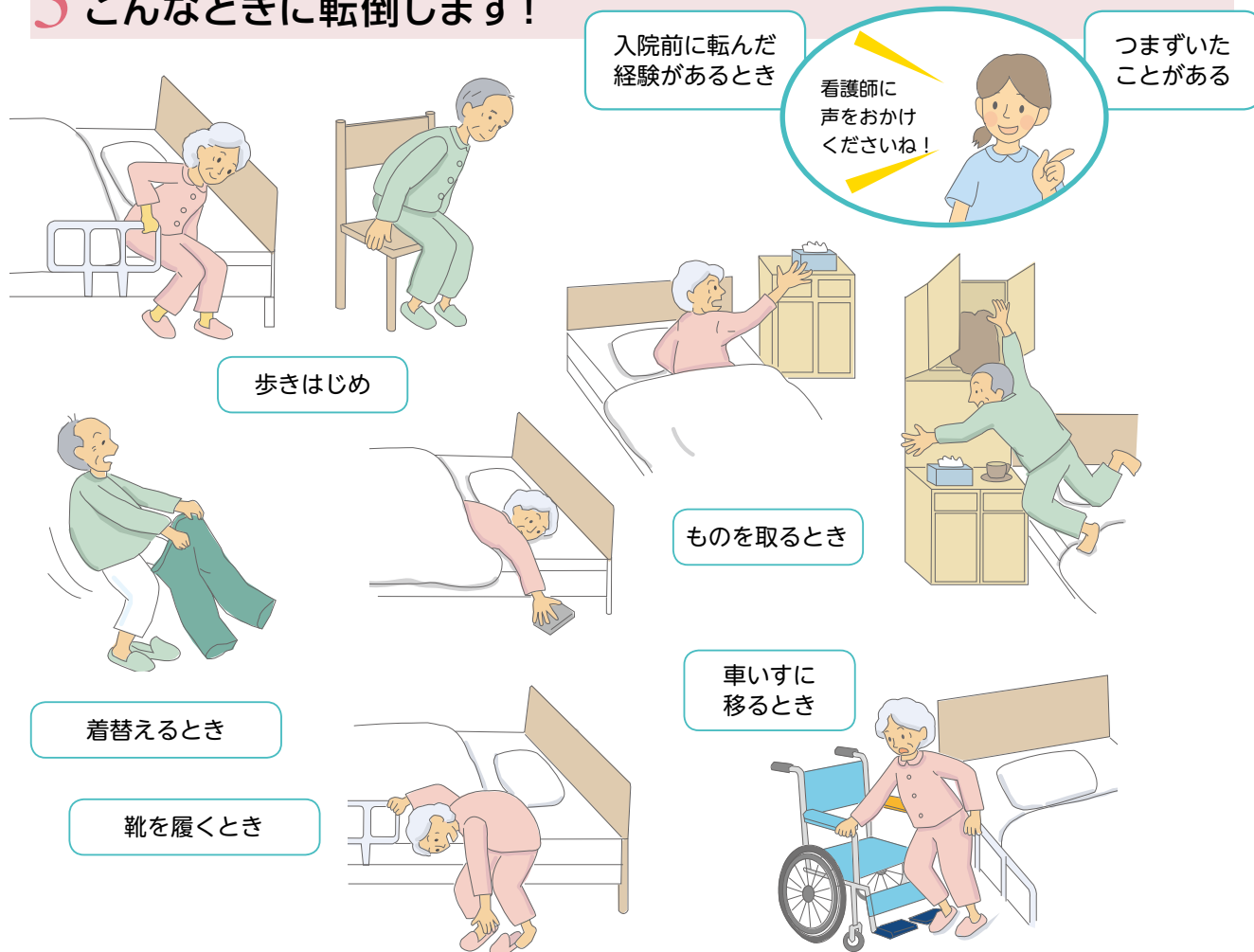
支えにしたら勝手に動いた

②スリッパやサンダルなどの禁止

- かかとのある運動靴など、滑りにくいものを履いてください。



3 こんなときに転倒します！



③ 消灯後は危険

ベッドの上り下りの際には、必ず枕もとの照明を点けてから、ゆっくりと行ってください。

④ 薬の副作用が危ない

睡眠薬や鎮痛薬など眠気やふらつきが起こりやすいお薬を、治療などで使う場合がありますので、注意が必要です。

⑤ 遠慮は禁物

入院時のチェックで、付き添い歩行の説明を受けた患者さんは、歩くときに必ず看護師に付き添いのお声かけをお願いいたします。

4 骨折のリスク

転倒・転落などによる外傷がなくても、次のような方は骨折をしやすいといわれています。

- 80 歳以上の方
- 関節が固まって動きにくくなっている方
- ステロイド薬を長期間服用されている方
- 以前に骨折をされたことがある方
- 長期の寝たきりの方
- 寝返りができない方
- 透析をされている方
- 意思表示ができない方

当院では、注意を払ってケアをさせていただくと同時に、異常の早期発見に努めています。ご心配なことがありましたら、医師や看護師にお伝えください。

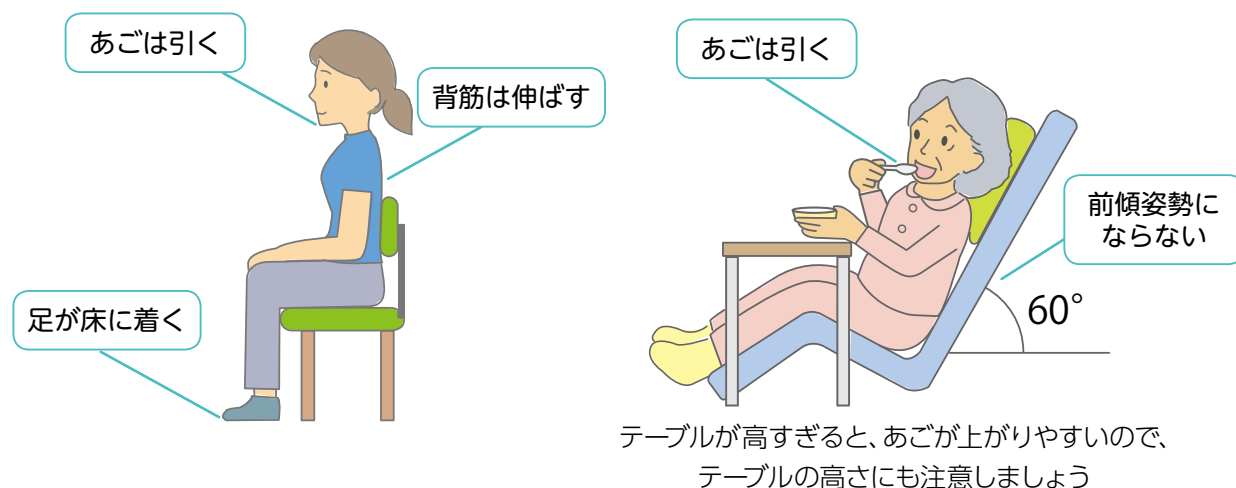
5 食事時の誤嚥や窒息を防ぐためにこんなことに注意しましょう

誤嚥とは、食べものや唾液を飲み込むときに、食道ではなく気道に入ることです。窒息や肺炎を起こすおそれもあるため、食べものの形態を工夫したり、正しい姿勢で食事をしましょう。

① 食事時の姿勢

あごが上を向いた姿勢は、気管が開くため、誤嚥の可能性が高くなります。
できれば座って食事をしたほうが、誤嚥しにくくなります。

誤嚥を防ぐ正しい食事姿勢



② 食べものの形態

食べやすさや飲み込みやすさは、嚥下能力《飲み込む機能》によって人それぞれ違います。入院中の食事の形態など気になることはご相談ください。

また、水分はむせやすいので注意が必要です。

③ 口に入れる量・よく噛むこと

飲み込む機能が衰えてくると、一度にたくさんの量をほおばると誤嚥や窒息をしやすくなります。
1回で飲み込める量だけを口に入れましょう。おかゆなどの柔らかいものでも誤嚥や窒息を起こすこともあります。

また、よく噛むことが大切です。義歯を使用している方は、食事の際にも義歯を使用してください。ただし、義歯が合わない場合は無理に使用せずに、食べものの柔らかさや大きさを調整しますので、ご相談ください。

6 誤嚥・窒息のリスク

年齢を重ねるにつれ、「食べる」ことに関わるさまざまな機能が衰え「誤嚥」や「窒息」のリスクも高まります。

●高齢の方 ●寝たきりの方 ●麻痺のある方 ●脳梗塞や神経疾患 など

今まで、食事に問題がなかった方も入院という環境の変化によって、「誤嚥」や「窒息」のリスクが生じることもあります。

7 ^{ごえん}誤嚥・窒息の予防

食後、口の中に食べものが残っていると、^{ごえん}誤嚥性肺炎になる可能性があるため、口の中はできるだけ清潔に保ちましょう。

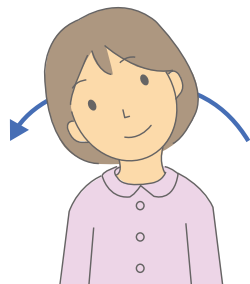
また、唾液の分泌が少ない高齢の方の口の中は乾いています。食前に水分をとり、口を湿らせてから食事を始めましょう。

食べるため、飲み込むための身体機能が元気に働くために、「^{えんげ}嚥下体操」を取り入れることも大切です。

- ① **首の体操**：左右を向く、首を傾けたり回したりして首をほぐす
- ② **肩の体操**：両腕を上げ下げしたり、肩を回したりして、肩のまわりをほぐす
- ③ **口の体操**：口を大きく開けたり閉じたり、引き結んだりして唇の周辺の筋肉をほぐす
- ④ **頬の体操**：頬（ほほ）を膨らませたり、すぼめたりして頬の筋肉を動かす
- ⑤ **舌の体操**：舌を出したり、舌先で左右の口角に触れたりして、舌を動かす
- ⑥ **声を出す体操**：「パ」「タ」「カ」「ラ」の4つの音をはっきり発声し、口の動きや唾液の分泌を促す

① 首の体操

首を倒す

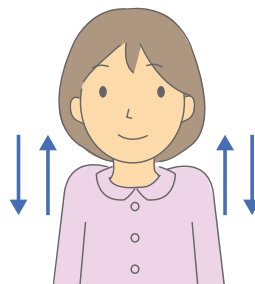


首を回す



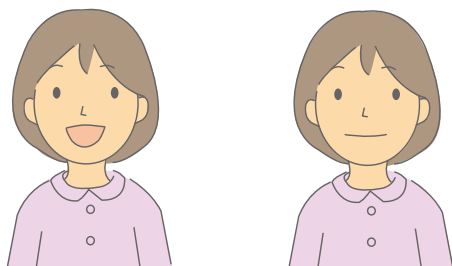
② 肩の体操

肩を上げ下げする



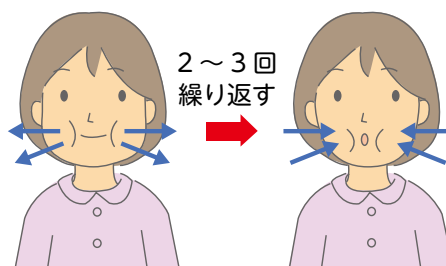
③ 口の体操

口を大きく開けたり閉じたり



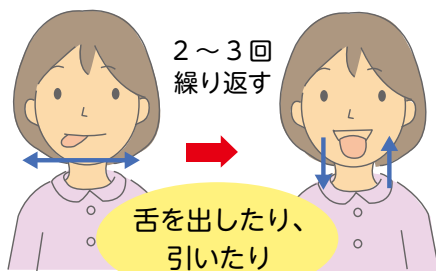
④ 頬の体操

頬を膨らませたりすぼめたり



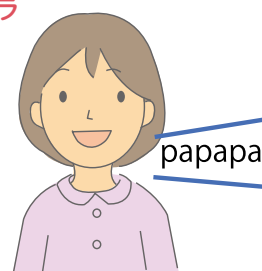
⑤ 舌の体操

舌で左右の口角に触れる



⑥ 声を出す体操

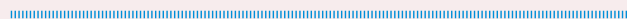
パパパ ラララ
カカカと
ゆっくり言う



入院中の生活について・大切なお知らせ

入院生活を快く過ごしていただくためのご案内と
入院中に守っていただきたい事柄を
記載しています。

お気づきの点やご心配なことなどがありましたら、
医師や看護師など、病院職員に
ご遠慮なくお申し出ください。



入院中の生活について

当院の医療チームは、患者さんが入院されている間の診療・看護・検査に関して責任を持ち、安心して療養していただけるようにしっかりとケアをいたします。

治療や検査、そのほか、ご不明点や疑問点、不安などがありましたら、担当の医師や看護師、あるいはスタッフステーションまでご遠慮なくお声かけください。

また、当院は、医学生、看護学生、薬学生などの教育実習機関となっており、指導者の監督のもと、それら学生も患者さんと接し、診察や処置などの医療に参加いたします。明日の医療を支える人材育成のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 ネームバンドの装着について

- 患者さんを間違えないために、「ネームバンド」を装着していただきます。ネームバンドは装着したままでも、治療、検査、入浴、シャワーなどができますので、影響はありません。



2 お食事について

- 医師の指示により、患者さんの病状や体格にあわせた食事をご用意いたしますので、提供された食事をお召し上がりください。食事の持ち込みは、治療上、または衛生上好ましくありませんので、基本的にご遠慮ください。
- 配膳時間（病棟により異なります）

朝 食	昼 食	夕 食
午前 8 時～	正午～	午後 6 時～

- 食物アレルギーがある場合はお申し出ください。
- 食事についてお困りのことや疑問などがありましたら、医師、看護師、管理栄養士にお尋ねください。

3 貴重品について

- 院内における紛失・盗難について、当院は一切の責任を負えませんので、貴重品はできるだけ持ち込まない、またはご自身で管理していただきますよう、お願いいたします。
- 多額の現金や高価なものなども持ち込まないように、お願いいたします。
- セーフティーボックスのカギの管理は、各自でお願いいたします。

4 テレビ・冷蔵庫のご使用について

- 病室には、各自のベッドサイドにテレビ・冷蔵庫付きの床頭台を備えています。(テレビ・冷蔵庫は有料)

5 洗濯について

- コインランドリー (有料) が入院棟11階にあります。
病室や洗面所での洗濯物の乾燥はご遠慮ください。

6 シーツ交換について

- 週1回シーツを交換いたします。(入院病棟によって曜日は異なります)
シーツ交換前に、できるだけベッドの上の私物を片付けてくださるよう、ご協力をお願いいたします。

7 シャワー・入浴について

- 予約制です。
シャワー・入浴は医師の許可が必要です。利用時間・場所については、スタッフにお尋ねください。
※シャワーや入浴が許可されない場合は、タオルでの清拭を行います。

8 病室移動・ベッド移動について

- 病状または病棟の状況により、病室やベッドの移動をお願いする場合がありますことをご了承ください。

9 携帯電話・インターネットのご利用について

- 病室内での携帯電話の通話は他の患者さんの迷惑になりますので、使用をご遠慮ください。
病棟通話可能エリアでご利用できます。
- 院内各所で Free Wi-Fi が利用できます。接続するには、以下の①②の2段階認証が必要です。
① SSID (無線 LAN の通信規格) : marianna-hospital
パスワード : marianna
② ブラウザ (Safari など) を起動し、表示される「Wi-Fi Connection Service」の画面で「利用規約に同意の上、接続する」をクリック

〈注意事項〉

- ご利用にあたっては、事前に「院内における携帯電話等のご使用について」(院内掲示)をご確認の上、周囲の方々へのご迷惑にならないよう、ご配慮ください。
- デバイスの環境(機種が5GHzに対応していない場合や、OSが古いバージョンの場合など)によっては、SSID、ブラウザでの接続画面が表示されないことがありますので、ご了承ください。

10 院内での迷惑行為について

- 当院では、安全で質の高い医療を提供するためには、患者さんと医療者との良好な信頼関係が大切であると考えています。

皆さんが快適に医療を受けていただくため、次のような行為があった場合は、診療をお断りし、退去を求めることがあります。また、状況により警察介入を依頼することもありますので、あらかじめご了承くださいとともに、皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 飲酒、敷地内および周辺での喫煙、危険物の持ち込みなど、入院生活上のルールに著しく反する行為
- ② 職員および当院利用者への暴言、暴力、恫喝、脅迫、ハラスメントなど、周囲に迷惑を及ぼす行為
- ③ 院内の機器類の無断使用、持ち出し、または器物破損行為
- ④ 病院側の許可なくカメラ、ビデオ、録音機器、携帯電話等による撮影、録音する行為
- ⑤ 解決しがたい要求を繰り返し、診療業務を妨害する行為
- ⑥ その他、医療に支障をきたす迷惑行為

11 院内の機器や備品の破損について

- 院内機器または備品などを故意に破損する行為は禁止です。破損または紛失した場合、弁償していただくことがございます。

勤務犬による動物介在療法について

当院では、病気と闘う患者の皆さまおよびそのご家族に、情緒的安定や闘病意欲の向上を促進させる目的として、「病院勤務犬」による動物介在療法や動物介在活動を実施しています。勤務犬による動物介在療法のひとつとしては、勤務犬を同伴した手術室への入室を受け入れ、頻回に手術をされるお子さんなどのそばに寄り添うことで、良好な麻酔導入を得ています。

勤務犬の訪問を希望された患者さんのいる病棟や病室を訪問させていただくことがありますので、犬アレルギーや犬が苦手という方がいらっしゃいましたら、お手数ですが入院される病棟の師長またはスタッフステーションへご相談ください。



診療記録のご提供について

当院では、カルテなど診療記録の内容を患者さんに提供する「カルテ開示」を実施しています。開示により患者さんとの信頼関係を深め、また、ご自身の病気をより理解することによる治療効果の向上を目的としています。

※カルテ開示には、手数料がかかります。要 身分証明書類

申し込み窓口：外来棟7階 診療記録管理室

各種診断書・証明書の発行について

入院中に診断書・証明書等が必要な場合は、スタッフステーションでお尋ねください。また、退院後に必要な場合は、文書センターまたは各診療科の外来受付でお尋ねください。

※お渡しした診断書・証明書等は、返品・返金ができませんので、あらかじめご了承ください。

診断書の作成に関しては、担当医師へ依頼をしていますが、難病法の対象疾患数が増え、患者さんの数の多いことから、おおむね3週間程度のお時間をいただいています。

なお、診断書は個人情報になりますので、レターパックライトにて郵送させていただきます。(レターパックライト代430円をご負担ください)

※ただし、遠方にお住まいの方、お体の不自由な方で、どうしても来院が困難な方には、紛失、遅延のリスクをご承知いただいた上で返送用のレターパックライトをご用意いただき、郵送をお受けする場合があります。やむを得ないご事情がある場合は、文書センターへご相談いただきますよう、お願いいたします。

災害時の対応について

- 非常口および廊下には、緑色の避難誘導表示が付いています。
- 避難路や場所、非常口については、各病棟に表示してあります。
- 火災・地震などの発生時には、当院職員の指示にしたがってください。
- エレベーターの使用時には最寄りの階に停止いたしますので、近くにいる職員の指示にしたがってください。
- 検査・リハビリなどで病棟外にいるときは、その場所にいる職員の指示にしたがってください。

入院中における他の医療機関への受診について

- 入院中に、他の医療機関へ診察またはお薬をもらいに行く（外泊も含む）場合は、必ず事前に担当医師または看護師にご相談ください。
- 原則、当院に入院中は、他の医療機関での診察や投薬などで健康保険を使用できませんので、患者さんの全額負担となる場合があります。ただし、当院の医師が必要と認めた場合は、健康保険を使用できる場合もあります。

感染症予防対策について

当院では、院内感染を防止するために、医師・看護師をはじめとする全職員が医療処置の実施前後に手指衛生や手袋・エプロンなど个人防护具の着用を行っています。

入院中の患者さんご自身も、感染症から身を守るために、手指の衛生、マスクの着用にご協力をお願いいたします。

1 手指の衛生（手洗い・消毒）

次の2つの方法を用いて、トイレの後、食事の前、診察後、病棟外から戻られた後、携帯電話やパソコンなど、なにかものに触れた後などは、必ず1. 2. のいずれかの方法で手指消毒を行ってください。

1. 流水と石けんによる手洗い
2. アルコール配合の手指消毒剤による擦り込みでの手指消毒

2 アルコール配合の消毒剤による手指消毒の方法

消毒剤は、通常1回、手の大きい方は2回押して使ってください。手指全体に消毒剤を擦り込んでください。



①両手の指先を消毒する。



②手のひらを消毒する。



③両手の甲側と指を消毒する。



④指と指の間を消毒する。



⑤親指は、手のひらでねじるようにして消毒する。



⑥最後に手首を消毒する。

3 マスクの着用

患者さんご自身や、面会をされるご家族はマスクの着用をお願いいたします。

（「不織布」製のものを推奨します）

お持ちでない場合は院内の売店でも販売していますので、必ず着用をお願いいたします。

病棟案内図

RF				
9 階		機械室		
8 階		多目的ホール	臨床講堂	
7 階		特診外来 / ゲノム医療外来 遺伝診療部 / 治験管理室 診療記録管理室	病院長室 / 看護部 / 事務部 医療安全管理室 感染制御部	
6 階		神経精神科 生化学検査 / 細菌検査	緩和ケアセンター 臨床研究データセンター 治験管理室 / 共有当直	
5 階		脳神経外科 / 脳神経内科 リウマチ・膠原病・アレルギー内科 眼科	婦人科 / 産科 乳腺・内分泌外科	レストラン
4 階	外来	呼吸器内科 呼吸器外科 腫瘍センター / 緩和ケア外来	消化器・肝臓内科 消化器・一般外科 耳鼻咽喉科	聖堂 がん相談支援センター 理容室 介護ショップ 連絡通路
3 階		心臓血管外科 / 循環器内科 腎臓・高血圧内科 腎泌尿器科 / 形成外科	皮膚科 / 生殖医療センター 麻酔科外来	コンビニ 連絡通路
2 階		代謝・内分泌内科 検体検査 / 採血・採尿	生理検査 超音波センター	カフェ 連絡通路
1 階		血液内科 総合診療内科 健康診断センター	小児科 / 整形外科 医事課 / MSC	正面玄関 入院セトルメント受付 連絡通路
B1F		リネン室	スキャンセンター	
		北	南	
		外来棟		エントランス棟



ヘリポート

機械室					屋上
リウマチ・膠原病・アレルギー内科 総合診療内科					12 階
消化器内科 腫瘍内科					11 階
乳腺・内分泌外科 婦人科					10 階
神経精神科					9 階
循環器内科					8 階
血液浄化療養ユニット リハビリテーションセンター クリニカルエンジニア部					7 階
小児科 小児外科					6 階
特別室					5 階
消化器・一般外科 消化器内科					4 階
乳腺・内分泌外科 整形外科 / 皮膚科 形成外科					3 階
脳神経内科 SCU					2 階
心臓血管外科 循環器内科 呼吸器内科					1 階
腎臓・高血圧内科 腎泌尿器外科					1 階
総合周産期母子医療センター NICU/GCU					1 階
血液内科 腫瘍内科					1 階
消化器・一般外科					1 階
整形外科					1 階
脳神経外科 耳鼻咽喉科					1 階
呼吸器内科 呼吸器外科					1 階
眼科 代謝・内分泌内科					1 階
病棟					1 階
病理診断科					1 階
薬剤部					1 階
栄養部					1 階
中央器材室					1 階
SPD / 修理室					1 階
中央手術・IVR センター					1 階
中央手術部					1 階
IVR 室					1 階
輸血部					1 階
E-ICU/E-HCU 救急集中治療室					1 階
集中治療センター					1 階
G-ICU(CCU)/G-HCU 総合集中治療室					1 階
内視鏡 センター					1 階
救命救急センター 夜間急患センター					1 階
画像センター					1 階
核医学					1 階
放射線 治療センター					1 階
W 西棟					1 階
S 南棟					1 階
E 東棟					1 階
入院棟					1 階

サービス施設について

売店・介護ショップ	セブンイレブン	エントランス棟 3 階	24 時間
	介護ショップ ハートイン	エントランス棟 4 階	平日：午前 8 時 30 分～午後 5 時 土曜：午前 8 時 30 分～午後 2 時 日曜・祝日：休み 医療衛生材料・医療用かつら等
	入院セットレンタル 受付窓口	エントランス棟 1 階	平日：午前 8 時 30 分～午後 3 時 土曜：午前 8 時 30 分～午後 12 時 日曜・祝日：休み
飲食店	レストラン Caffe&Meal MUJI	エントランス棟 5 階	平日：午前 9 時～午後 3 時 土曜：午前 9 時～午後 3 時 日曜・祝日：休み
	喫茶・休憩所 タリーズコーヒー	エントランス棟 2 階	平日：午前 7 時 30 分～午後 8 時 30 分 土曜：午前 7 時 30 分～午後 5 時 日曜・祝日：休み
その他のサービス	理容室 木村理容室（予約優先）	エントランス棟 4 階	平日：午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分 土曜：午前 8 時 30 分～午後 1 時 30 分 日曜・祝日：休み
	コインランドリー	入院棟 11 階	午前 7 時～午後 7 時
	銀行 セブン銀行	エントランス棟 3 階	24 時間
	銀行 みずほ銀行（ATM）	バスターミナル 守衛所となり	ATM（通帳繰越機は設置なし） 平日：午前 7 時～午後 11 時 土曜・日曜・祝日：午前 8 時～午後 9 時
	公衆電話	入院棟各フロアー	
	郵便ポスト	外来棟玄関横	（集荷時間） 平日：午前 11 時、午後 15 時 土曜：午前 11 時 10 分、午後 15 時 10 分 休日：午前 11 時 10 分、午後 15 時 10 分
	インターネット		* 端末（パソコンやスマートフォンなど）は、 ご自身でご用意ください。 * 院内 Free Wi-Fi がご利用できます。
	Free Wi-Fi	院内各所で使えます	

当院は、地域に密着した医療を行えるように努力するとともに、
健康管理に貢献できることを大切な使命と考えております。
教職員に対する心付けは固くお断りいたします。

病院長

関連病院

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院

〒241-0811 神奈川県横浜市旭区矢指町 1197-1

TEL 045-366-1111 (代表)

URL <https://seibu.marianna-u.ac.jp/>

川崎市立多摩病院

〒214-8525 神奈川県川崎市多摩区宿河原 1-30-37

TEL 044-933-8111 (代表)

URL <https://tama.marianna-u.ac.jp/>

聖マリアンナ医科大学附属研究所

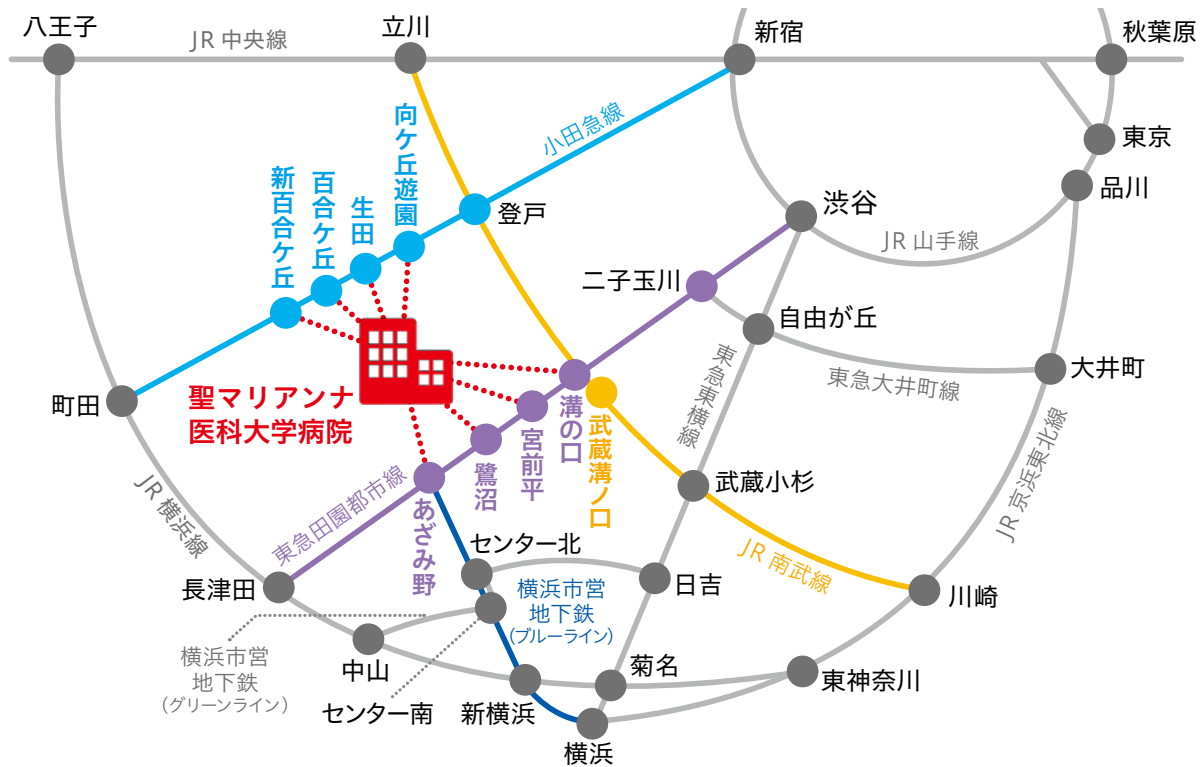
ブレスト & イメージング先端医療センター附属クリニック

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-2

TEL 044-969-7720 (代表)

URL <https://www.marianna-u.ac.jp/breast/>

交通機関案内図



バス情報

小田急線

向ヶ丘遊園駅

小田急バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車
あざみ野駅行 聖マリアンナ医科大学下車

生田駅

川崎市営バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

百合ヶ丘駅

小田急バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

新百合ヶ丘駅

小田急バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

JR 南武線

武蔵溝ノ口駅

川崎市営バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

東急田園都市線

溝の口駅

川崎市営バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

宮前平駅

川崎市営バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

鷺沼駅

川崎市営バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

小田急バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

東急バス

聖マリアンナ医科大学行 終点下車

あざみ野駅

小田急バス

向ヶ丘遊園駅行 聖マリアンナ医科大学下車

横浜市営地下鉄 (ブルーライン)

あざみ野駅

小田急バス

向ヶ丘遊園駅行 聖マリアンナ医科大学下車



聖マリアンナ医科大学病院

〒216-8511 神奈川県川崎市宮前区菅生 2-16-1 TEL 044-977-8111 (代)

ホームページアドレス <https://www.marianna-u.ac.jp/hospital/>